

倉谷工事区間



▲倉谷工事区間 (事業者: 中丹東土木事務所提供)



▲二ツ橋付近の4車線工事の様子



▲位置図

主要地方道 次世代に向けた東西市街地の

小倉西舞鶴線 一体化による活力あるまちづくり

白鳥トンネル工事区間



▲新白鳥トンネル(仮称)掘削工事

倉谷工事区間

倉谷西交差点から二ツ橋交差点までの約320mの区間を4車線にする工事を行っています。伊佐津川沿いに事業が進められている、国道27号西舞鶴道路と接続する道路であり、新たな交通の流れに対応するため、現在は舞鶴赤十字病院前交差点から二ツ橋交差点間の地盤面を上げるかさ上げ工事を行っています。また、今回の事業区間では、交通の流れを円滑化するほか、医療施設へのアクセス強化や災害に強い道路にするため、電柱や電線を地中に埋める無電柱化など、防災対策も実施されています。また、自転車や歩行者、車椅子利用者の安全を確保するため、現状より広い歩道で計画され、整備されています。

白鳥トンネル工事区間

市内字森の市道北吸森線交差点から字上安の市道上安天台線交差点までの約1.4kmの区間を4車線にする工事が進められています。現在、トンネル区間の4車線化に向けて、東向き車線となる、新白鳥トンネル(仮称)が掘削されています。新しいトンネルには、歩道も新設されるため、自転車や歩行者も安全に通行できるようになります。また、トンネル工事と並行して、トン



▲新白鳥トンネル(仮称)完成イメージ (事業者: 中丹東土木事務所提供)

主要地方道小倉西舞鶴線

主要地方道小倉西舞鶴線は、東西市街地を最短経路で結び、経済活動や医療連携を支えるなど「次世代に向けた東西市街地の一体化による活力あるまちづくり」に向け、欠かせない道路です。白鳥トンネル付近は、交通が集中し慢性的な渋滞が発生しているほか、歩道が無い、自転車や歩行者の安全な通行に支障があるといった課題がありました。また、倉谷工事区間では慢性的な渋滞解消などの交通環境の改善や災害に強い道路整備が求められています。こうした課題を4車線化だけでなく、国土交通省が進める国道27号西舞鶴道路との接続によっても解決を目指します。

これらの工事は、道路用地を提供いただいた地権者や周辺住民、道路利用者など多くの皆さんの協力によって順調に進められています。

事業主体として整備を進めていただいた京都府西脇知事をはじめ、事業の実現にご理解とご協力をいただいた関係者の皆さんに出席いただき、新白鳥トンネル(仮称)の着工を祝して、昨年12月25日に着工を祝う会を開催しました。



▲新白鳥トンネル(仮称)着工を祝う会の様子

ネル前後区間の拡幅工事も進められており、西側では、トンネル工事で発生する土を活用して盛土工事が行われ、東側では山を切って道路を拡幅する工事を行っています。市では、引き続き事業主体の京都府と連携し、事業の早期完成に向け取り組みます。